

議会改革特別委員会 報告

開かれた議会へ
意見交換会「議会と話そう」の開催
ペーパーレス化や
インターネット公開を検討しました。



委員会設置の経過と 調査・研究事項

比布町議会では、令和2年3月12日に議会改革特別委員会を設置し、委員長に佐藤康則副議長、副委員長に今井明信議員を選出しました。

しかし、4年1月に中本諭議長が逝去され、佐藤委員長が議長に就任したことから、今井議員を委員長に、遠藤ハル子議員を副委員長に互選しました。

委員会は延べ16回開催され、より町民に理解される開かれた議会をつくるための調査・研究を行いました。

議会改革の具体的事項

(1)ペーパーレス化
デジタル庁が発足し、社会全体のデジタル化が加速しています。

また、国連サミットで可決された「持続可能な開発目標（SDGs）」において、ペーパーレス化は二酸化炭素排出量の削減などに貢献するものとされています。

本町でも地球温暖化対策として、4年3月に「ゼロカーボンシティ宣言」を行い、脱炭素に向けた取り組みを積極的に行うこととしており、ペーパーレス化はデジタル社会への対応や持続可能な社会・経済活動の取り組みとして、今後必須になると予想されます。

上川管内の議会においてもペーパーレス化を図るため、タブレットの導入が進みつつあります。本議会でも視察やデモンストレーションを実施し、導入に向けての研究を深めてきました。

このペーパーレス化は行政側でも資料の編集作業における省力化などのメリットがあることから、5年度の改選後から双方で協議を

進め、6年度の導入を目指します。

(2)傍聴環境の整備

■意見交換会の開催
議会傍聴の改善を協議する中で、議会への興味・関心を町民から得ることを最優先とし、議会を知ってもらうことを目的に、意見交換会「議会と話そう」を開催しました。

意見交換会は5年1月19日と25日に開催し、町民延べ20人が参加され、活発な意見交換が行われました。内容は「ぴっぷ議会だより」臨時号（111号）で報告しています。

また、「議会と話そう」の継続開催を望む声が多かったため、次年度以降も内容等を検討しながら継続して開催する予定です。

■インターネット公開

議会本会議のインターネット公開については、意見交換会参加者のアンケートでも公開を望む声が多かったことから、今後も議会への関心を広め、傍聴ができない方のために実施する方向で行政側とも協議していきます。

■日曜・ナイター議会の開催

意見交換会やインターネット公開の状況を検証し、改めて研究することとします。

(3)議員定数と報酬

現在の議員定数9名は、2つの常任委員会を維持するためには必要な人数であり、減らすことは難しいとの見解から当面維持することとします。

なお、常任委員会制についての議論を尽くすことができなかったため、今後においても研究が必要です。

また、議員報酬の低さは議員のなり手不足の原因の一つとされています。全国町村議会議長会の提言などを参考にし、増額の根拠を示しながら、継続した協議を進めていく必要があります。

(4)議場への飲み物の持ち込み

会議中における議員、職員体調管理を考慮し、ふたのできる容器での飲料の持ち込みを可能としました。

このことに伴い、4年第2回議会定例会で議会傍聴規則を一部改正し、傍聴者も議場で水分補給することができるようになりました。

おわりに

本委員会の設置期限は4月30日ですが、継続課題が多いことから、改選後に改めて議会改革特別委員会を設置する方向で次期全議員に諮るよう、事務局へ指示しました。

6年生が議会に提案

子ども議会比布町道の駅計画案

3月17日、中央学校6年生による「子ども議会」が開催されました。

6年生は、町の食の美味しさや自然豊かなところを多くのの人に知ってもらうにはどのようにしたら伝えられるかを考え、「道の駅」を建設するという提案をしてくださいました。

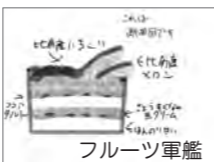
「比布町道の駅計画（案）」と題したプレゼンでは、「建設部」「お土産部」「食品部」など7つのグ

ループに分かれて発表。ゆったりくつろげるスペースや町産食材を使ったカフェメニュー、効果的な広報活動など趣向を凝らしたユーモアあふれるアイデアに感心するばかりでした。

子どもから大人まで楽しめる比布町の良さを生かしたまちづくりを進めていけるよう、議会としても頑張りたいと思います。

（大熊勝幸）

らんち」。家族連れをターゲットに地元野菜を使ったジンギスカン野菜炒め定食やニジマス定食、また「ぴっぷみつ」を使ったパンケーキなど多くのメニューが提案されました。



5 食品部カフェ課

カフェ「田舎の森」。比布でしか食べられないメニューを紹介。ドライいちごを使ったガトーショコラ「幸せのひととき」、いちごやメロンをすしネタに見立てた「フルーツ軍艦」など。

6 イベント部

身近な人から、つながりのない人まで町に興味を持ってもらうことを目標に、自分たちが自信を持っておすすめできる場所をめぐるスタンプラリーや子ども・大人向け特産品クイズを提案しました。

7 広報部

比布町の良さを伝えるいちご型のパンフレットは道の駅をお知らせするだけでなく、町内のおすすめの店も紹介。また、町SNSのQRコードを掲載する工夫も。他にポケットティッシュ、カレンダー、ポスターの提案もありました。

比布町道の駅計画（案）

1 建設部外装課

比布北インターチェンジ乗り降り口横に建設。木造1階建て、900㎡、145台駐車可能（普通・大型・身障車用含む）、施設内のマンホールのふたはポケフタに。アスレチック・足湯を併設。

2 建設部内装課

お土産コーナーやレストラン、テラス、キッズスペース、また、入口からトイレまでの導線を考え、施設を訪れる様々な人に配慮したレイアウトを提案しました。

3 お土産部

「長く楽しめるぴっぷ土産」をコンセプトに農産物のおいしさ、自然の良さを伝えたいと旭川の道の駅でお土産を調査し、ドライいちご、冷凍オクラコロッケなど日持ちする食品とオクラ型ボールペンなど文房具のお土産を提案しました。

4 食品部レストラン課

比布を知り尽くせる、食べ尽くせる道の駅「みち

